

(41) 三川(みかわ) 鉦山跡

東北道を郡山の先で、新潟に向かって磐越道に入る。途中の三川ICで降りる。インターチェンジを降りたら、新発田方面へと車を進める。新谷地区が近くなると、道路は急に90°左に曲がり、直ぐに新谷川を渡るようになる。が、この橋を渡ってはいけぬ。道路は90°左折が主道路となっているが、左折しないで、直進して細い道に進んでいく。下の地図の左下あたりがこの部分である。後は地形図中に記載されている道を進んでいくだけである。林道は殆ど舗装されている。

鉦山跡には、他のルートもある。新谷地区を主道路に従って先に進んでいく。北上していくと上綱木地区に入る。この所からも林道を伝って鉦山跡に行き着ける。どちらのルートでもかかる時間は同じくらいである。



国土地理院2万5千分の1地形図「東赤谷」。赤丸の2箇所大きなズリ跡がある。鉦山跡付近を拡大した地形図は次の頁に掲載している。

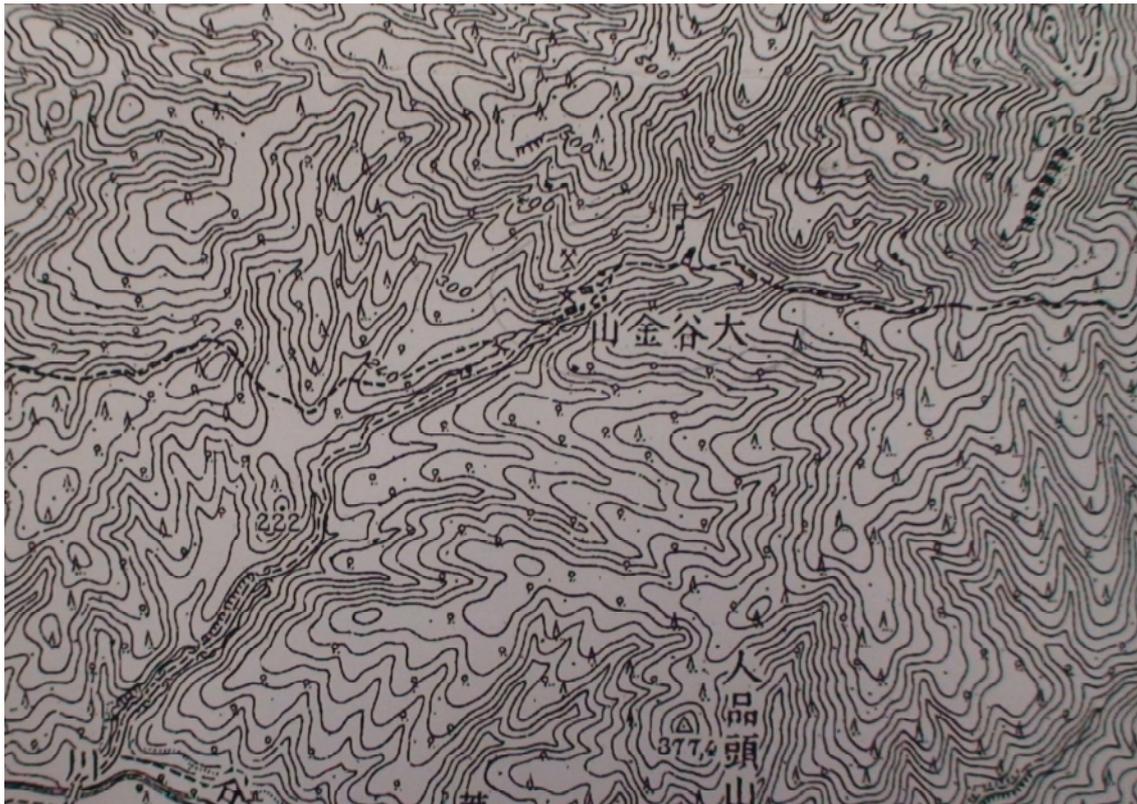
調査日 2010年4月、その他の日



上の地図の部分拡大。黄緑色の部分に坑口跡があった。



旧地形図 国土地理院5万分の1「津川」明治44年則図昭和6年修正。中央付近に「大谷金山」名が記されている。次ページに拡大した地形図を掲載している。



上の旧地形図の「大谷金山」近傍の拡大

大谷金山には学校の記号もある。明治44年測図には学校記号はなかった。活気に満ちたときもあったのである。鉱山記号の位置は、現在の地形図中の左側のズリ跡と一致するようである。神社の記号もある。次回にはこの神社を探そう。草木の枯れた時期が最適であろう。

鉱山跡写真



林道から見上げたズリ1の様子。



林道から直登してズリ2に達する。草木が生い茂っている時期には、林道からの直登道の入り口がわかり難いかもしれない。



ズリ2は何段かのズリ段に分れている。最上段のズリの先にあった坑口跡。

採集鉱物写真

銅の2次鉱物は良くある。が大した標本は採集できなかった。ので、未掲載。